| 学校番号 | 1206 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅲ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 書Ⅲ　（光村図書） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書作品の製作意図を明確にし、工夫をこらし制作することで書の諸能力を高める。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して,生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに，感性を磨き，個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書表現の諸要素を感受し，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え,書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 学習プリント<br>観察 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | ・古典臨書作品の制作<br><br>・漢字工芸作品制作 | ・臨書する古典の選定<br>・古典の特徴を踏まえ表現方法を工夫し制作する<br>・自作の語句及び詩文を選定し工芸作品に取り組む。<br>・制作の意図を発表し鑑賞しあう。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:各古典の背景・特徴を理解し積極的に取り組めている。<br>b:多様な書の特徴を理解し，美や，美を構成する背景を感受しながら，感性を豊かにしている。<br>・創造性豊かに表現の工夫をしている。<br>C: :習得した技術が表現に生かされている。<br>d:作品の相互評価を行うことで表現と鑑賞の関連性を高める。 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 |
| 2学期 | ・漢字仮名交じり<br>・漢字仮名交じり工芸作品制作 | ・自作の語句や詩文を考え、制作する。<br>・用具、用材、構成など自己表現の工夫を考える。<br>・潤渇、太細など表現を工夫して制作する。<br>・漢字と仮名を調和させて作品を制作する。<br>・自作の語句及び詩文を選定し工芸作品に取り組む。<br>・制作の意図を発表し鑑賞しあう。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:自作の語句を考え、積極的に取り組めている。<br>b: 用具・用材や構成などを工夫している。表現を工夫し，自分なりに構想している。<br>c: 構成と展開を工夫して作品を制作している。表現の意図に合った用具・用材，構成で作品を制作している。表現の意図を考えながら漢字仮名交じりの書を創作している<br>d: 自己作品，他者作品（創作参考作品）を鑑賞して，それぞれの表現方法の特徴を捉えている。 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 |
| 3学期 | ・「硬筆」<br>・実用書の学習<br>・共同作品制作 | ・日常的な文書の書式や文化を学ぶ。<br>・ハガキ作品を制作する<br>・自作の語句を組み合わせ文章を作り書作品に表す。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:ハガキの書式を理解し制作できている。協調、協力の念を持って作品制作に取り組めている。<br>b: 生活の中のどの場面に書を広げるか構想している。<br>共同作品として構成するに当たり自他の作品を活かせるように取り組んでいる。<br>c:多様な表現で制作できている。<br>d: 書が生活を彩っていることを感じ取っている。 | 学習プリント<br>観察<br>提出作品 |

※　表中の観点について　a:書道への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※ 原則としてひとつの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。